

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・松魚亭

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：山岸与作 幹事：上田忠信

情報委員長：中村三次

1983・2月24日 第235号

## 日本の治安について

金沢中警察署署長

警視正 大友 銀久氏



日本は、世界一治安がよいといわれている。その理由は、警察に対する国民の理解、協力の外、日本民族が単一民族であり、武器の携行が禁止されていること等によってもいわれているが、最近、日本の治安の中にも若干のかげりが出ている事は、否認しません。

通り魔事件、コンピューター犯罪、金融機関に対する強盗事件、保険金殺人、麻薬、覚醒剤犯罪等々刑法犯罪は昭和57年で152万件に上り、昭和23年・24年について戦後3番目の増加率となっている。

もっとも一般凶悪犯は横這い乃至減少傾向にあり、窃盗犯が全体の86%に上り、大中に増加しているが、窃盗の中でも万引、車上ねらい、車盗が増加の傾向にあります。

ところで、犯罪率即ち、人口10万人当りの刑法犯罪発生率は、1980年の国際統計によれば、殺人は日本1.4人、アメリカ10.2人、西ドイツ4.4人、フランス3.0人で、いずれも日本より2.14倍から7倍強であり、強盗は日本が1.9人、アメリカは実に243.5人、西ドイツ39.3人、フランス55.0人、イギリス26.8人と、10数倍から128倍ということになっている。又都市別でみてもニューヨーク、ロサンゼルス、パリ等の殺人は、東京の10倍から12倍、強盗では165倍から249倍となっている。国際的統計からも、日本の治安は、一応保たれているといえます。

刑法犯罪増加の傾向は、県下に於ても、金沢市においても同じで、これまで8,000件から9,000件と横這いで来たものが、昨年は10,651件と増加し、窃盗犯、特に車盗、車上ねらい、万引が増え、これらが85.5%を占めています。

県下の刑法犯罪を100とすれば、金沢市でその50%を占め、そのうち50%つまり県下の四分の一が中署管内で発生しています。

56年末統計では県下の犯罪率は47都道府県中41位、福井42位、富山32位で、北陸三県おしなべて治安はいいといえます。

イザヤベンダサン氏が、日本人は安全と自由と水はただと思っていると皮肉っているが、アメリカの最高級ホテル暮らしをしているユダヤ人の生活の中身は、大変質素なものであり、そこが一番安全という事でホテル暮らしをしているものであって、生命の安全に高価な代償を払っているも

(次頁へつづく)

のであり、決して贅沢をしているものではないということです。生命の安全、社会秩序の維持、即ち治安の維持は、社会活動の基本となるものであり、この度に相当なる代償を払うことは已むを得ないことと思います。

昨年の県下の交通事故は日本一の増加率となり、昭和45年をピークとして、半減させたのに甚だ残念なことでありました。その原因として、やはり根本はスピードの出しすぎが大きな事故につながると考えられます。事業の安全運転管理者におかれて、毎朝従業員に一声かけて頂くことが、大変な成果を上げるのではないかと考えられます。車はすぐには止れないという認識を、運転者に更に教えて頂きたいと思います。なお、シートベルトをしていれば、死なずに重傷あるいは軽傷ですんだであろうと思われる事故が沢山あるが、高速道路だけでなく、常にシートベルトを着用して事故が少しでも軽くすむように、この点についても安全運転管理者において留意すべきことと思います。

又、事故の加害者は、処罰されるだけでなく、場合によって莫大な被害弁償責任を負い、みじめな被害者の立場に陥ります。先日暴力団員3人をはね、1名死亡、2名重傷という事故があり、この加害者と被害を受けた暴力団との対応に関心がもたれて居るが、警察としては民事不介入の原則に立ち乍らも、事の性質上、その成行に重大な関心を持ち、関係者と連絡を密にてその推移を見守っておりますが、現在のところ世上にいられているような心配すべき状況にありません。

次に、暴力団については、全国的組織を持ち日本で一番大きな山口組の田岡組長が亡くなり、その後継をめぐっていろいろ問題があり、内部の統制がきかず、下の方で勢力争い等がおきているが、県下でも昨年勢力争いからむ発砲さわぎ等があり、坂林組18名、紺谷組6名を検挙した。暴力団幹部といっても、中には人当たりが良く、外見上暴力団かなあと思われる人もいるが、暴力団幹部は沢山の組員をかかえ、上納金の検出の問題もあり、資金源が必要な為、人の弱みにつけ込んで金融民事介入など、どんなことでもやりかねないので、どんな小さなことでも警察に教えて頂き、早期に対応して行きたい。

又、暴走族の存在も無視出来ないものがあり、昨年暴走族同志の乱闘さわぎが発生し、これ等の補導を契機にグループを解体させたが、次々と新しく16・7才の若者が集団を作っているようである。これら、少年非行の問題点は、家庭にも重大な原因があるように思います。放任が一番いけないが逆に過干渉、過保護にならず、温かい対話と「けじめ」のある家庭が望ましい。片町香林坊界限には、2,000軒にのぼる飲食店や飲み屋さんがあるが、警察としても少年非行を防止し明るい町作りのためにも、いかがわしいものは排除し、環境浄化に努力しています。

慶応義塾の総長で、皇太子殿下の教育を担当なさった、故 小泉信三先生の著書の中に、「一本の木」という話があります。はげしい台風が来て、山々の木々が耐えられずにバタバタ倒れて行く中で、一本の木が、今こそ自分が頑張らねばと、歯をくいしばって、根を張ってこらえた。これを見たあとの木も、皆これをまねて頑張ったところ、台風もおさまり、秋のすばらしい日になって来たという話です。

私は、折にふれ、この話を例にとり、若い署員に人生には、いくつかの壁や、障害があるが、その逆境にあってこそ、不撓不屈の精神で頑張る根性、正しいと信じたことを貫く勇気が大事だと、語りかけております。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

### 次年度委員会編成

《1983.7～1984.6》

委員会	委員長	副委員長	委員
社会奉仕	二木	春田	山岸 木島 上田 長谷川
国際奉仕	石丸	鈴木	飯野 浅野 木下 米沢(真)
職業奉仕	坂下	山上	庄田 市川 合田 大沢
例会	池島	吉岡	出島 増江 魚住 落合
拡大	浅田	岡田	若野 本江
企画	本岡	磯貝	橋場 館山 土田
情報	中村(三)	小林	米沢(修) 吉山 関
親睦	高畠	篠原	釣見 由井 西畑 滝 吉田
修練	小杉(善)	土原	柴田 宗田 上
友好	依	下村	桜井 小杉(守) 中谷
地域開発	越野	中村(省)	大場 清水

### 1月例会出席状況

出席率 100%

会員名	月日					1月	会員名	月日					1月
	1/6	1/13	1/20	1/27	1/6			1/13	1/20	1/27			
浅田	○	○	M	○	○	◎	大沢	○	○	○	○	◎	
浅野	○	○	○	○	○	◎	岡田	○	○	○	○	◎	
出島	○	○	○	○	○	◎	坂下	○	○	○	○	◎	
二木	○	○	○	○	○	◎	桜井	○	M	M	M	◎	
長谷川	M	○	○	○	○	◎	沢田	○	○	○	○	◎	
合田	○	○	M	○	○	◎	関田	○	○	M	○	◎	
春橋	○	○	○	○	○	◎	柴田	○	M	○	○	◎	
本江	○	○	M	○	○	◎	清水	○	○	M	○	◎	
市川	○	○	○	○	○	◎	下村	○	M	○	○	◎	
飯島	○	○	○	○	○	◎	篠原	○	○	○	○	◎	
池田	○	○	○	○	○	◎	塩田	M	○	○	○	◎	
石丸	○	○	○	○	○	◎	庄田	○	○	○	○	◎	
磯貝	○	○	○	○	○	◎	鈴木	○	○	M	M	◎	
上田	○	M	M	M	M	◎	滝	○	○	○	○	◎	
木下	M	○	○	○	○	◎	高畠	M	M	○	○	◎	
木林	M	○	○	○	○	◎	館山	○	○	○	○	◎	
小間	○	M	○	○	○	◎	依	M	M	○	○	◎	
小野	○	○	○	○	○	◎	土原	○	○	○	○	◎	
小杉	○	○	○	○	○	◎	土田	○	○	○	○	◎	
小増	○	○	○	○	○	◎	佃	○	○	M	○	◎	
本岡	○	○	○	○	○	◎	釣	M	○	○	○	◎	
宗田	○	○	M	○	○	◎	上	○	○	○	○	◎	
中村	○	○	○	○	○	◎	魚住	○	M	○	○	◎	
中谷	○	○	○	○	○	◎	若野	○	M	○	○	◎	
中西	○	○	○	○	○	◎	山岸	○	○	○	M	◎	
落合	○	○	○	○	○	◎	米沢	M	M	M	○	◎	
大場	○	○	M	○	○	◎	吉田	M	○	○	○	◎	
大村	○	M	M	○	○	◎	由井	M	M	○	○	◎	
	○	○	○	○	○	◎	岡山	M	○	M	M	◎	
	○	M	M	○	○	◎						◎	

